

# 創業100周年の企業紹介



会長 伊藤 友治氏

## (有)平治煎餅本店

創 業 ● 1913年 3月  
所 在 地 ● 津市大門20-15  
代 表 者 ● 代表取締役社長 伊藤 博康  
業 務 内 容 ● 菓子製造販売  
代 表 商 品 ● 平治煎餅、平治最中、平治のワッフル

### これまでのあゆみ

|          |                  |
|----------|------------------|
| 1913年 3月 | 伊藤銀太郎が旧伊予町にて創業   |
| 1920年    | 大門(旧立町)に移店       |
| 1966年    | 江戸橋2丁目にて工場・販売店開設 |
| 1978年    | 幸町にて橋南店開設        |



### ●貴社の商品についてお聞かせ下さい

創業以来、当地の名刹・旧跡・伝承伝説を商品に託した代表銘菓『平治煎餅』の材料は、初代が考案した砂糖・玉子・小麦粉で、当時としては贅沢な玉子をたっぷりを使用した玉子せんべいで、津の町に知り渡りました。

## 平治煎餅の由来



阿漕海岸に暮らす貧しい漁師の平治。ある時、母親が風邪をこじらせ、病にふせてしまいます。医者にかかるお金もない平治は、何とか母を助けようと当時神宮ご用の禁漁区からヤガラという栄養のある魚を獲り食べさせました。そのおかげで母の病気は日増しに良くなりますが、禁漁区の手締りの目が厳しくなってしまいます。見つかる危険が高くなっても、母を助けたい平治は禁漁を続け、浜辺におき忘れた笠が証拠となって捕まります。役人も平治の思いやりを察しますが、どうすることもできず、平治は簀巻きにされ阿漕浦沖に沈められました。

平治煎餅・平治最中は、この悲しい孝子\*の物語にでてくる平治が忘れた笠をかたどって作られたものです。

\*孝子：親孝行な子

### ●津の街で好きなところを教えてください

- 毎月18日に開催されます津観音寺の「かんのんえんにち」でのお詣り。
- 子供の頃よく遊んだ津海岸一带。  
昔のような遠浅の海岸ではなくなり、寂しくなりましたが、今も朝の散歩コースにしています。

### ●今後の抱負をお聞かせ下さい

お客様を第一として、食の安全、喜ばれる商品造りをモットーに、初心を忘れず、信用と信頼を得られるよう、津の歴史とともに歩んでまいりたいと思っています。